

本時のねらい

スライドを使い、将来の自分の姿について、プレゼンテーションすることができる。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・作成したスライドの内容を何度も推敲しながら、自分のスライドを完成させることができる。
- ・スライドに文章や図を挿入することにより、見る側にわかりやすく説明することができる。
- ・ジャムボードを使うことにより、発表後、感想を送りあうことで瞬時に意見を交流することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Chromebook
- ・ジャムボード
- ・グーグルスライド
- ・電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	前時までに作った自分の原稿の最終確認をする。 発表原稿、スライドともに誤字脱字や発表の順番に間違いなどがいないか確認させる。	・スライドを使い端末上でプレゼンテーションを作成することで、すぐに確認し修正することができる。
展開 (30分)	①自分の将来について、発表しよう。また、友だちの発表に感想を送ろう。 ・児童一人ひとりが作ったスライドを使い、将来について発表する。 ②スライドを使って発表する。 ③ジャムボードを使ってメッセージを送信する。 ・友だちの発表を聞いて、感想や応援のメッセージを送る。	・自分の性格や将来の夢について、スライドで視覚的にわかりやすく伝える。 ・ジャムボードを使うことで、瞬時に意見が伝わる。 ・発表した友だちに対し全員が、すぐに励ましや応援などのメッセージを送ることができる。
まとめ (10分)	本時の感想を発表する。 ・相手に分かりやすく伝えることができたか。 ・友だちの意見を聞いて、どのように考えたか。 ・プレゼンテーションを行うことにより、将来の自分の姿がイメージできたか。	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：スライドを使って、発表している場面



写真2：ジャムボードで友だちに応援メッセージを送っている場面



写真3：ジャムボードの応援メッセージの画面

児童生徒の反応や変容

- ・スライドを作成するために、興味のある分野について、本や新聞やインターネットを活用して積極的に調べる姿が見られた。
- ・相手にわかりやすくするため、写真や文章表現等、工夫していた。
- ・応援メッセージをクラス全員から送ってもらうことにより、諦めかけていた夢を「またあきらめずに頑張ろう」と自信を持つことができた児童もいた。また、自分の意見を伝えることが苦手な児童も意欲的にクラスメイトにメッセージを送っていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・将来の自分の姿についてプレゼンテーションをするというねらいに向けて、児童たちは写真を活用したり、文章表現を工夫したりして、試行錯誤しながらスライドを作成していた。
- ・プレゼンテーション後、ジャムボードを使い意見交流することで瞬時に確認でき、児童たちの意欲の向上につながった。